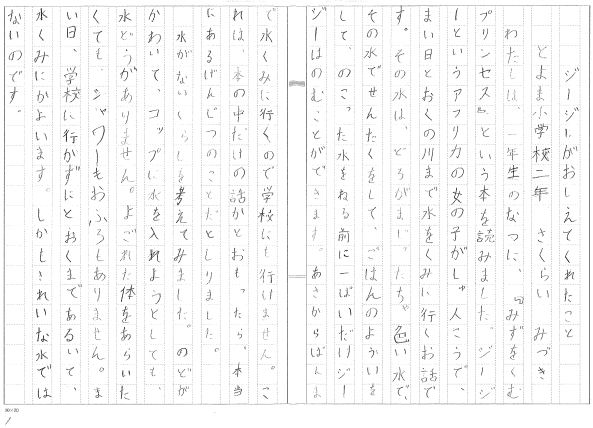
◆作文小学生低学年の部

特選　櫻井美月（登米小学校）



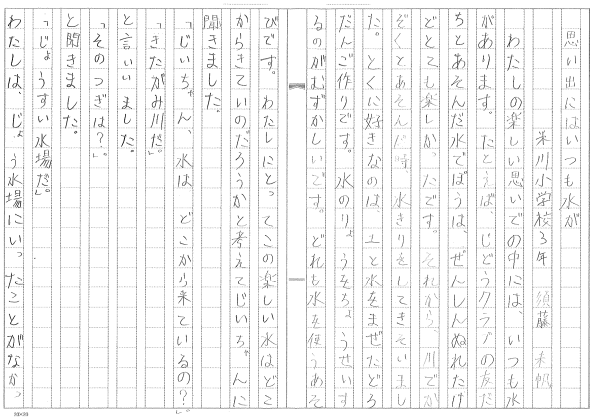
ジージがおしえてくれたこと

とよま小学校二年　さくらい　みづき

わたしは、二年生のなつに、「みずをくむプリンセス」という本を読みました。ジージというアフリカの女の子がしゅ人こうで、まい日とおくの川まで水をくみに行くお話です。その水は、どろがまーたちゃ色い水で、その水でせんたくをして、ごはんのようをして、のこった水もねる前に一ばいもジージはのむことができます。あさからばんまで水くみに行くので学校にも行けません。これは、本の中だけの話かとおもったら、本当にあるげんじつのことだとしりました。

水がないくらしを考えてみました。のどがかわいて、コップに水を入れようとしても、水どうがありません。よごれた体をあらいたくても、シャワーをおふろもありません。まい日、学校に行かずにとおくまであるいて、水くみにかよいます。しかしきれいな水ではないのです。

入選　須藤未帆（米川小学校）



思い出にはいつも水が

米川小学校三年　須藤　未帆

わたしの楽しい思いでの中には、いつも水がかかわっています。たとえば、じどうクラブの友だちとあそんだ水でっぽうは、ぜったいにわすれられないとてもたのしかったです。それから、川でおよいだりすなやまをしてきそいました。とくに好きなのは、土と水をまぜたどろだんご作りです。水のりょうをちょうせいするのがむずかしいです。どれも水を使うあそびです。わたしにとってこの楽しい水はどこからきているのだろうかと考えてじいちゃんに聞きました。

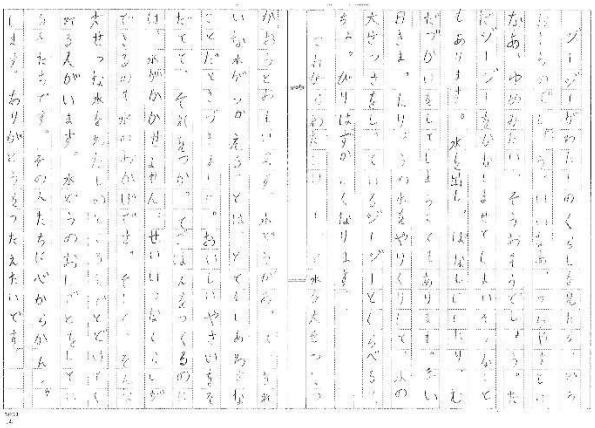
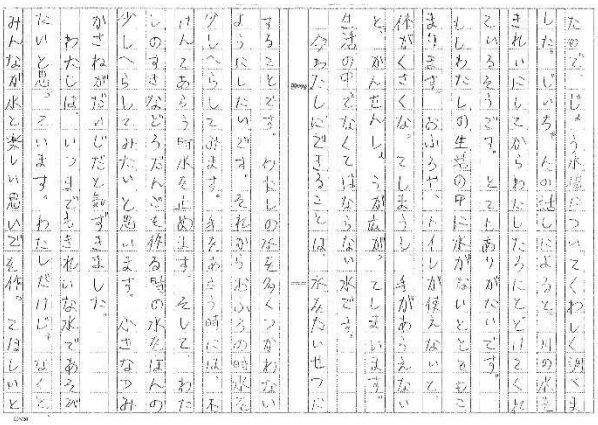
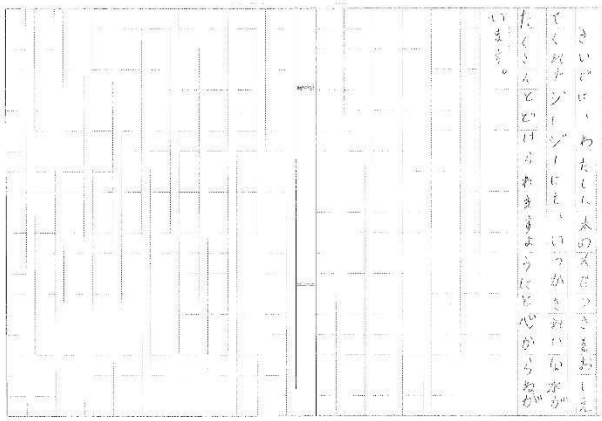
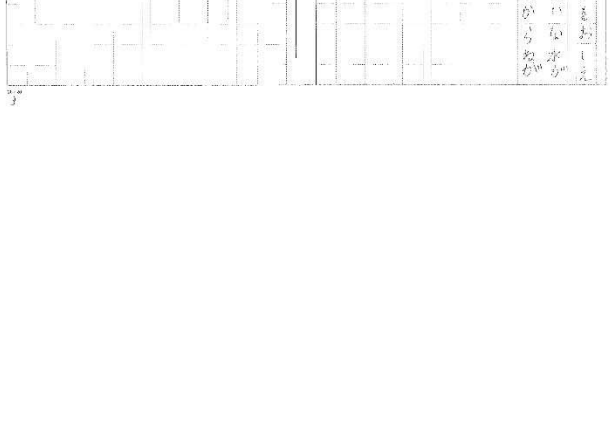
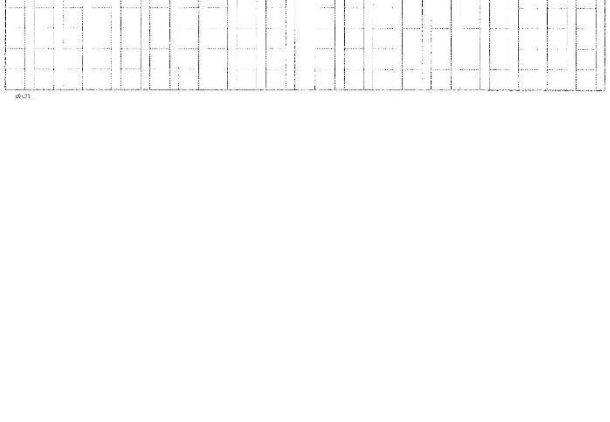
「じいちゃん、水はどこから来ているの？」

「きた上川だ。」

と言いました。

「そのつぎは？」

と聞きました。

「じょうすい水場だ。」

わたしは、じょう水場にいったことがなかっ